

## ■始めた経緯

2000年頃、インターネットが職場や家庭に普及して利用が広まる中、インターネット上の「掲示板」に差別書き込みが頻発していました。この現状に危機感を持って差別書き込みに対応するため、全市町村にある人権啓発推進本部の協議会である「啓発連協」が中心となり、2002年2月、市町村、奈良県、奈良県教育委員会など関係機関・団体とともに「インターネット掲示板差別書き込みについて考えるプロジェクト会議」を設立しました。その後、2003年4月に活動の拠点となる「インターネットステーション」を設置しました。

## ■活動内容

毎週、月曜日と金曜日に市町村、奈良県、奈良県教育委員会、関係機関・団体から、1チーム5名程度で参加してもらい、インターネットステーションで差別書き込み等のモニタリングを行っています。悪質な書き込みには、プロバイダや奈良地方法務局に削除要請を行っています。昨年度はプロバイダに229件、法務局に8件の削除要請を行いました。

## ■インターネット上の人権侵害

インターネット上には、偏見や差別意識から、被差別部落やその出身者、外国人、障害者などへの誹謗中傷の書き込みが数多くあります。自分の正体を明かすことなく書き込むことができるため、軽い気持ちで誹謗中傷や差別情報を書き込む場合がありますが、一度、インターネット上にアップされた情報は、急速に拡散してしまい、完全に消すことは非常に困難で、いつまでも被害が続く状況になります。

インターネット上で人権侵害を受けた場合や人権侵害と思われる書き込みを発見した場合は、サイト管理者またはプロバイダに対して、削除要請を行うこともひとつの方法です。ただし、サイトによっては独自のルールを設け、削除要請の公開を原則とするような場合もあります。この場合は問題のある書き込みをさらに

# 大切なことはインターネットを利用する人の意識 インターネット差別書き込みについて考えるプロジェクト会議

増加させることもあるので、慎重に対処する必要があります。子どもたちにはまず大人に相談してもらいたいと思います。そのためにも、普段からインターネットやスマートフォンの使い方などについて話し合うことが大切です。

また、安全にインターネットを使用するために、書き込みが不特定多数の人が見る可能性があることや相手の立場や気持ちに配慮した表現をすることが大切です。

## ■今後の活動

今、多くの子どもたちが小学生低学年からインターネットを利用しています。子どもたちの間ではインターネットによるいじめも起こっています。さらに、簡単に外の世界とつながることで犯罪に巻き込まれることもあります。

今後、ますます進展する情報化社会における人権問題の解決には、インターネットを利用する人たちの人権意識を確かなものに変えていかなければなりません。その手立ての一つとして毎年8月に「インターネットと人権」をテーマにしたシンポジウムを開催しています。今年も「これでいいのか ネット社会と子どもたち」をテーマに開催します。多くの方にご参加いただき、すべての人の人権が守られ、安心してインターネットを使うことができる社会に向けて力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。

## ●第15回シンポジウム

日時：8月10日(金) 13:30～  
場所：かしはら万葉ホール  
テーマ：「これでいいのか  
ネット社会と子どもたち」

## インターネット掲示板差別書き込みについて考えるプロジェクト会議

住所：奈良県橿原市大久保町302-1  
奈良県市町村会館1階  
市町村人権・同和問題「啓発連協」  
TEL：0744-22-9611 FAX：0744-22-9711  
URL：http://nara-tenichi.jp/publics/index/27/

